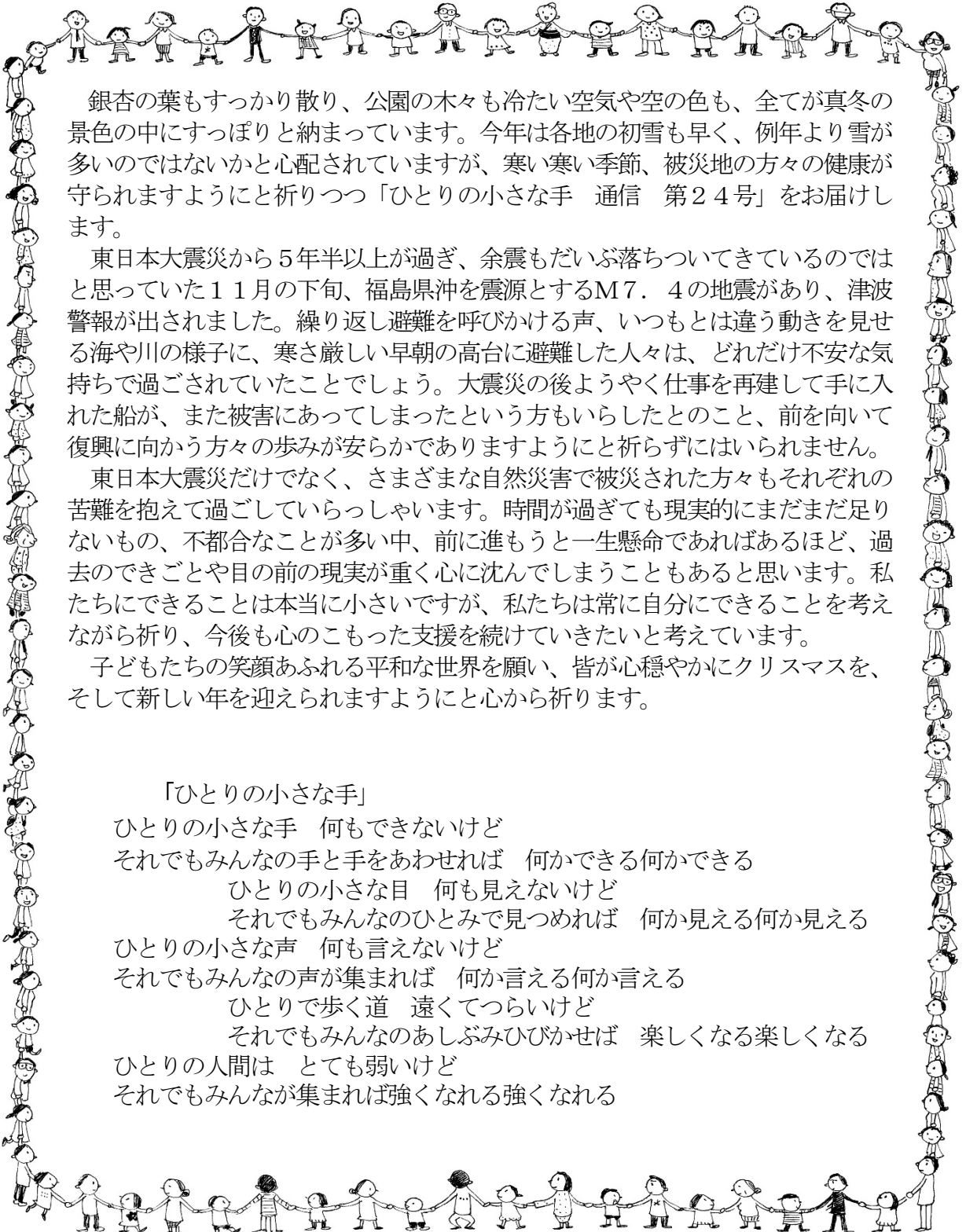


2016. 12. 20.



銀杏の葉もすっかり散り、公園の木々も冷たい空気や空の色も、全てが真冬の景色の中にすっぽりと納まっています。今年は各地の初雪も早く、例年より雪が多いのではないかと心配されていますが、寒い寒い季節、被災地の方々の健康が守られますようにと祈りつつ「ひとりの小さな手 通信 第24号」をお届けします。

東日本大震災から5年半以上が過ぎ、余震もだいたい落ち着いてきているのではと思っていた11月の下旬、福島県沖を震源とするM7.4の地震があり、津波警報が出されました。繰り返す避難を呼びかける声、いつもとは違う動きを見せる海や川の様子に、寒さ厳しい早朝の高台に避難した人々は、どれだけ不安な気持ちで過ごされていたことでしょうか。大震災の後ようやく仕事を再建して手に入れた船が、また被害にあってしまったという方もいらしたとのこと、前を向いて復興に向かう方々の歩みが安らかでありますようにと祈らずにはいられません。

東日本大震災だけでなく、さまざまな自然災害で被災された方々もそれぞれの苦難を抱えて過ごしていらっしゃると思います。時間が過ぎても現実的にまだまだ足りないもの、不都合なことが多い中、前に進もうと一生懸命であればあるほど、過去のできごとや目の前の現実が重く心に沈んでしまうこともあると思います。私たちにできることは本当に小さいですが、私たちは常に自分にできることを考えながら祈り、今後も心のこもった支援を続けていきたいと考えています。

子どもたちの笑顔あふれる平和な世界を願い、皆が心穏やかにクリスマスを、そして新しい年を迎えられますようにと心から祈ります。

### 「ひとりの小さな手」

ひとりの小さな手 何もできないけど  
それでもみんなの手と手をあわせれば 何かできる何かできる  
ひとりの小さな目 何も見えないけど  
それでもみんなのひとみで見つめれば 何か見える何か見える  
ひとりの小さな声 何も言えないけど  
それでもみんなの声が集まれば 何か言える何か言える  
ひとりで歩く道 遠くてつらいけど  
それでもみんなのあしぶみひびかせば 楽しくなる楽しくなる  
ひとりの人間は とても弱いけど  
それでもみんなが集まれば強くなれる強くなれる

## ◇活動報告

○ 9月2日(金) のげやまフェスティバル  
自然災害被災地支援募金

12,316円

のげやまフェスティバルの際、自然災害被災地支援のための募金活動を行いました。  
ご協力ありがとうございました。

○11月13日(日) 第15回 東日本大震災支援チャリティーコンサート開催

11月13日(日)の午後、合唱団 Chor MaiMine を迎え、第15回 東日本大震災支援チャリティーコンサートが開かれました。Chor MaiMine は、東京・銀座で活動する合唱団の有志メンバーによって結成された合唱団で、皆に馴染みのある曲を素敵な歌声とピアノでたくさん聴かせてくださいました。

多くの方々と共に祈り、被災地に心を寄せながら豊かな時を過ごせましたことに心より感謝いたします。手作りの手芸品やケーキのバザーも皆さんに喜んでいただくことができ何よりでした。



Chor MaiMineの  
皆さん



ピアニスト  
関藤まい子さん



チケット代	65,000円
手作り品バザー	47,700円
ケーキバザー	40,800円
クリスマスグッズ	117,870円
優しい香り募金	35,600円

(12月5日現在 引き続き行っています)

出演者交通費など経費を除く、チケット代、義援金、バザー売上金は、次の通り、被災地へ送らせていただきました。

原町聖愛こども園にはクリスマスプレゼント、ほっとカフェにはコーヒーや紅茶、お菓子も一緒にお送りしました。とても喜んでくださいました。

南相馬原町聖愛こども園 (保育園がこども園に変わりました)	50,000円
震災支援音楽プロジェクト	30,000円
日本赤十字を通し熊本へ	100,000円
陸前高田 ほっとカフェへ	20,000円

たくさんの方々にご来場、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

## 佐藤文子さんよりのメッセージ



ずっと陸前高田のほっとカフェにかかわっておられる現在は、東北大学 東北メディカル・メガバンク機構におられる佐藤文子さんより「ご支援ありがとうございます。熊本のみかんやケンタッキーを購入し、皆様からいただいたコーヒー豆やお菓子を持って陸前高田に行ってきました。復興住宅ができては孤独だったり、仮設に住んでいらっしゃる方もまだ多く、まだまだ寒くて寂しい冬を迎えていました。皆様の暖かいお心に皆さん感謝しておりました。」とメールをいただきました。

## ◇被災地の情報コーナー

教育館玄関に、震災や被災地支援に関するコーナーがあります。

- 被災地からのお手紙、今までのお手紙などのファイル
- ひとりの小さな手通信のバックナンバー
- 東日本大震災関連の本や新聞
- 今までのチャリティーコンサートのDVD

どうぞ、関心をもってご覧ください。また、本、DVDなどの貸し出しもいたしますので、ご希望の方は、お申し出ください。野毛山幼稚園 HP [ひとりの小さな手](#)を開けていただくと、今までの通信を見ることができます。

## ◇今後の予定

### ○第16回 東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート

次の通り、第16回のチャリティーコンサートを計画しています。次回のコンサートも、東日本大震災だけでなく、熊本地震など自然災害の被災地支援に役立てることができればと考えています。少し先の日程になりますが、ぜひ、多くの方々にご来場いただきたいと思います。

日時 2017年3月12日(日) 13:00 開場 13:30 開演

出演 オトノワプロジェクト <http://otonowa.strikingly.com/>

ピアノ 香川 真澄さん

ピアノ 井上 絵美さん 他

イマジネーション(想像)をテーマに「音楽(MUSIC)・芸術(ART)・お話(STORY)」を融合させた音楽パフォーマンス団体です。クラシック音楽は敷居が高い。難しそう。そんなイメージはありませんか? 普段クラシックに馴染みのない人たちにこそ、気軽に触れて楽しんでもらいたい。音楽からより多くの「想像して、わくわくする」楽しさを伝える活動をされています。子どもたち、おとなにとっても、楽しく音楽に親しむことができ、とても素晴らしいです。

詳細は、後日、ちらしやHPにてお知らせいたします。どうぞご予約くださいますよう、お願いいたします。



発行 2016年12月20日

ひとりの小さな手プロジェクト

事務局 〒2200032 横浜市西区老松町30地

野毛山キリストの教会・子どもの教会 野毛山幼稚園

根岸ひろみ 奈良亜樹子 浅井知美